業務部速報

No. 23
発行 12. 11. 9
JR東労組 業務部

申7号 年末手当交渉 2回目

組合

収入が落ちている時は我慢してくれと言われ、私たちは理性的に対応してきた。リーマンショック前の収入動向には戻っていないと言うが、その都度もの差しを替えるのはやめるべきだ。過去最高の経常利益は事実であり、組合員の増収努力の結果である。上半期の収入が年度末手当の基準であり、組合員の努力を評価し満額回答すべきだ。組合員の期待は大きい。「グループ経営構想Ｖ」を実現するためにも期待に応えるべきだ。

会社

上期が好調なのは社員の努力ということは認識している。収入動向は常に好調が続くとは判断していない。世界的な景気の失速、個人消費の低迷も予想され、下期以降は、好調な収益を維持できるかは楽観視できない。

経常利益は過去最高益

組合員の苦労を会社は受け止めろ！

各系統の組合員の声を会社にぶつける！満額回答を！

営業：被災地の復興、お客様からの暴力なども乗り越え組合員も頑張っている。出せないというのが納得できな

建工：通常業務に加え復興業務も行っている。BRT や難易度の高い工事、東京駅復原など完遂し会社に貢献している！

工務：震災以降、今でも復旧復興に向け現場で奮闘している。若い人材のためにも満額回答を求める！

きかく：私たちは企画部門なので仕事内容は理解していると思う頑張った分は頑張った分として認めてほしい！

運車：震災以降、現場の組合員が一丸となって努力してきた。今回の増益も一人一人の努力の結果だ！

かんり：東日本大震災直後大きく減少したが、収益も、大きく回復した。現場の士気や、やる気を出すための回答を！

医療：震災以降、汗を流してきた努力の結果が上期決算に現れている。仙台病院も含め収入回復に向け努力をしてきた！

青年部：これからの会社を発展させるのは、JR採用の若手である。青年部員は会社施策も積極的に担い、様々な職場で日々奮闘している。努力に報いるべき！

組合員の努力に報いるため、会社に厳しい議論で挑みます！